

出演者のご紹介

第1部『記念講演』・第2部『パネルディスカッション』コーディネーター



たかの ひろやす
高野 宏康 小樽商科大学客員研究員・北前船研究活用ネットワーク代表
北前船は、日本海航路を中心に各地を結び、様々な物資の流通をはじめ、人の移動や文化の伝播など地域社会の発展に大きな役割を果たしました。2017年に日本遺産に認定され、現在では49市町が北前船遺産を活かした広域連携による地域振興の取り組みを進めています。本フォーラムでは、北前船の歴史的意義と日本遺産の可能性について、青森県内4市町の皆さんと一緒に話せることを楽しみにしています。1974年石川県加賀市生まれ。専門は北前船学、地域資源論。『北前船と小樽・後志』（2016年）等、北前船について多数執筆。

第2部『パネルディスカッション』パネラー



なかた かくや
中田 書矢 鯉ヶ沢町教育委員会総括学芸員
高校卒業とともに淡路を離れ、富山県の大学で歴史を学び、まるで北前船の航路をなぞるかのように鯉ヶ沢に来て25年になります。日々の仕事を通じて、「海の道」で結ばれた歴史や文化財に出会うたび、知れば知るほど、心はずませる驚きと発見の連続でした。各寄港地の皆さんと、それぞれの港町の魅力を共有し、語り合えることがすごく楽しみです。

1973年兵庫県淡路島生まれ。町の文化財担当者・『北前船と津軽西浜』（共著）



いとう まこと
伊東 信 深浦町教育委員会課長補佐
史跡をめぐるウォーキング事業などを実施し、町内の魅力的な文化財の情報発信に努めています。風待ち港がもたらした北前船の文化を独自に形成してきた深浦町の魅力を今後も町内外に広めていきたいと思っています。

1973年深浦町生まれ。平成10年に町職員として採用され、深浦町教育委員会に配属。主に文化財を担当。『北前船と津軽西浜』（共著）



やまざき あゆ
山崎 杏由 野辺地町教育委員会歴史民俗資料館主幹
野辺地町の文化財を担当し、町のそこかしこに北前船に関する文化や歴史が様々な形で残されていることを実感しています。また、北前船を通じ多くの方々から各地域の歴史を学ばせていただき、北前船で繋がる各地域の歴史・文化に魅力を感じています。今回のフォーラムで皆さんと学び合いながら、港町の魅力を一緒に発信していきたいと思います。

1987年野辺地町生まれ。平成29年から町の文化財を担当。



くどう だいすけ
工藤 大輔 青森市教育委員会市民図書館歴史資料室室長

工藤姓は津軽地域に多いようですが、私のルーツに津軽はありません。大学院在学中の平成10年4月、「3年でいいから」という甘い言葉に誘われて青森市の市史編さん室へ…そして毎日津軽米を食べ四半世紀が過ぎました。その意味で青森市という地域の魅力を客観的に捉え、発信できているのではないかと思います。

1968年北海道紋別郡遠軽町生まれ。平成28年から現職。主に近世史を担当。



..... お問い合わせ

野辺地町教育委員会歴史民俗資料館 TEL0175-64-9494 青森県上北郡野辺地町字野辺地1番地3
鯉ヶ沢町役場政策推進課観光商工班 TEL0173-72-2111 青森県西津軽郡鯉ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地

日本遺産「北前船寄港地」



日時

令和6年 3月3日（日） 13時30分～16時

場所

リンクモア平安閣市民ホール 第1会議室
（青森県青森市柳川一丁目2番14号）

入場

無料（申込不要）

※フォーラムでは、北前船寄港地が多く所在する能登半島地震被災地域の復旧・復興のための「義援金募金箱」を設置します。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

パネル展

日本遺産「北前船寄港地」パネル展
—津軽・南部と北海道の港町—

期 間 2月16日（金）～3月3日（日）
9時～19時（最終日は16時まで）
場 所 リンクモア平安閣市民ホールギャラリー
入場料 無料
内 容 青森県内と北海道の日本遺産・北前船寄港地と主な寄港地、北前船が運んだ歴史や文化を紹介するパネル展示
解説会 3月3日（日） 10時30分～

主催：野辺地町教育委員会 共催：北前船日本遺産推進協議会 北海道・青森ブロック
協力：鯉ヶ沢町教育委員会/深浦町教育委員会
後援：青森市教育委員会/みなとまち・あおり誕生400年実行委員会/青森県文化財保護協会